

アスパラガス「ハルキタル」の休眠特性

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - アスパラガス - 品種、生理・生態、作型・栽培型
分類コード 03-35-01041800

2 担当者

木村善明・緑川弥寿彦

3 要旨

アスパラガスの福島県オリジナル品種「ハルキタル」について、定植1年目の株の休眠現象、休眠覚醒に必要な低温遭遇時間について明らかにした。

- (1) アスパラガスは、秋から冬にかけて休眠現象(加温しても萌芽(地下部にある芽が伸びて地上部に現れること)しにくいなどの現象)が見られ、休眠から覚醒するためには気温5℃以下の低温に一定期間遭遇する必要がある。
- (2) ポットに定植した「ハルキタル」1年生株の、加温を始めてから最初に萌芽するまでに必要な日数は、加温前に低温(気温5℃以下)に100時間及び300時間あたった株よりも、500時間、800時間あたった株の方が短くなる傾向が見られる。同様に「ウェルカム」1年生株については、低温に300時間、500時間及び800時間あたった株の萌芽までの期間が短くなる傾向が見られる。
- (3) ポットに定植した「ハルキタル」1年生株の、加温を始めてから一定期間に萌芽した茎の本数は、加温前に低温(気温5℃以下)に500時間、800時間あたった株で多くなる傾向が見られる。「ウェルカム」1年生株については、低温に300時間、500時間及び800時間あたった株で多くなる傾向が見られる。
- (4) 「ハルキタル」1年生株は、「ウェルカム」1年生株よりも休眠覚醒が遅く、低温(気温5℃以下)に500時間程度遭遇する必要がある。

4 その他の資料等

なし